

新潟県中越地震15周年災害資料シンポジウム

繰り返す災害と 長く向き合うために

2019年12月15日(日)

13:30～17:00

新潟大学五十嵐キャンパス 人文社会科学系棟F棟5階大会議室

■趣旨説明 原 直史（新潟大学人文学部）

■長岡市山古志地域の被災歴史資料と滝沢繁研究資料－自治体史編さん・資料レスキューから地域史研究へ－ 田中洋史（長岡市立中央図書館文書資料室）

■新潟県立歴史博物館の取り組み－文化財レスキューを続けるためには－ 田邊 幹（新潟県立歴史博物館）

■甦る山古志の民具－中越地震被災民俗資料の整理とこれから－ 飯島康夫（新潟大学人文学部）

■宮城での歴史資料保全活動16年－4度の自然災害を経て－ 佐藤大介（東北大学災害科学国際研究所）

■全体討論

参加無料・参加登録不要ですが、終了後懇親会参加希望者は下記までメールをください

hara@human.niigata-u.ac.jp

主催：新潟大学災害・復興科学研究所、地震・火山噴火予知研究協議会史料考古部会「日本海沿岸地域を中心とした地震・火山現象の解明のための史料収集と解析」研究グループ

共催：新潟大学人文学部地域文化連携センター、新潟歴史資料救済ネットワーク、新潟史学会

後援：科学研究費特別推進研究「地域歴史資料学を機軸とした災害列島における地域存続のための地域歴史文化の創成」（代表：神戸大学奥村弘）